

## 第1回国立大学法人東京大学債券 (愛称:東京大学FSI債)の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社(取締役社長:飯田 浩一)は、国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンドの引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。なお、本債券は国立大学が発行する国内初の債券となります。

東京大学は、「すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」「強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」といった、我が国が抱える社会的課題の解決、また、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に取り組んでいます。

今般、本ソーシャルボンドで調達する資金は東京大学FSI<sup>※1</sup>事業に充当され、「ポストコロナ時代の新しいグローバル戦略を踏まえた研究」および「安全、スマート、インクルーシブなキャンパスの実現」を通じて、より良い未来の創造のために活用される予定です。

東京大学は、国際資本市場協会(ICMA)が定める「ソーシャルボンド原則2020」に即したソーシャルボンド・フレームワークを策定し、これに対する第三者評価として株式会社日本格付研究所から「JCRソーシャルボンド・フレームワーク評価」の最上位評価である「Social 1(F)」を取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるESG(環境・社会・ガバナンス)債の専門的な情報収集、お客さまのESG債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスクを設置、その後2019年からサステナブル・ファイナンス室を新設して取り組みを強化してまいりました。

これらの取り組みにより、当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

今後も、当社グループの総合力を活用し、お客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、ESGをはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

※1 FSI(Future Society Initiative:未来社会協創)とは、教育と研究に加えて複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識し、文理を越えた「知」を集積して、より良い未来社会の構築に向けて協創することです。